三和の住宅用ガレージドア

クッキー

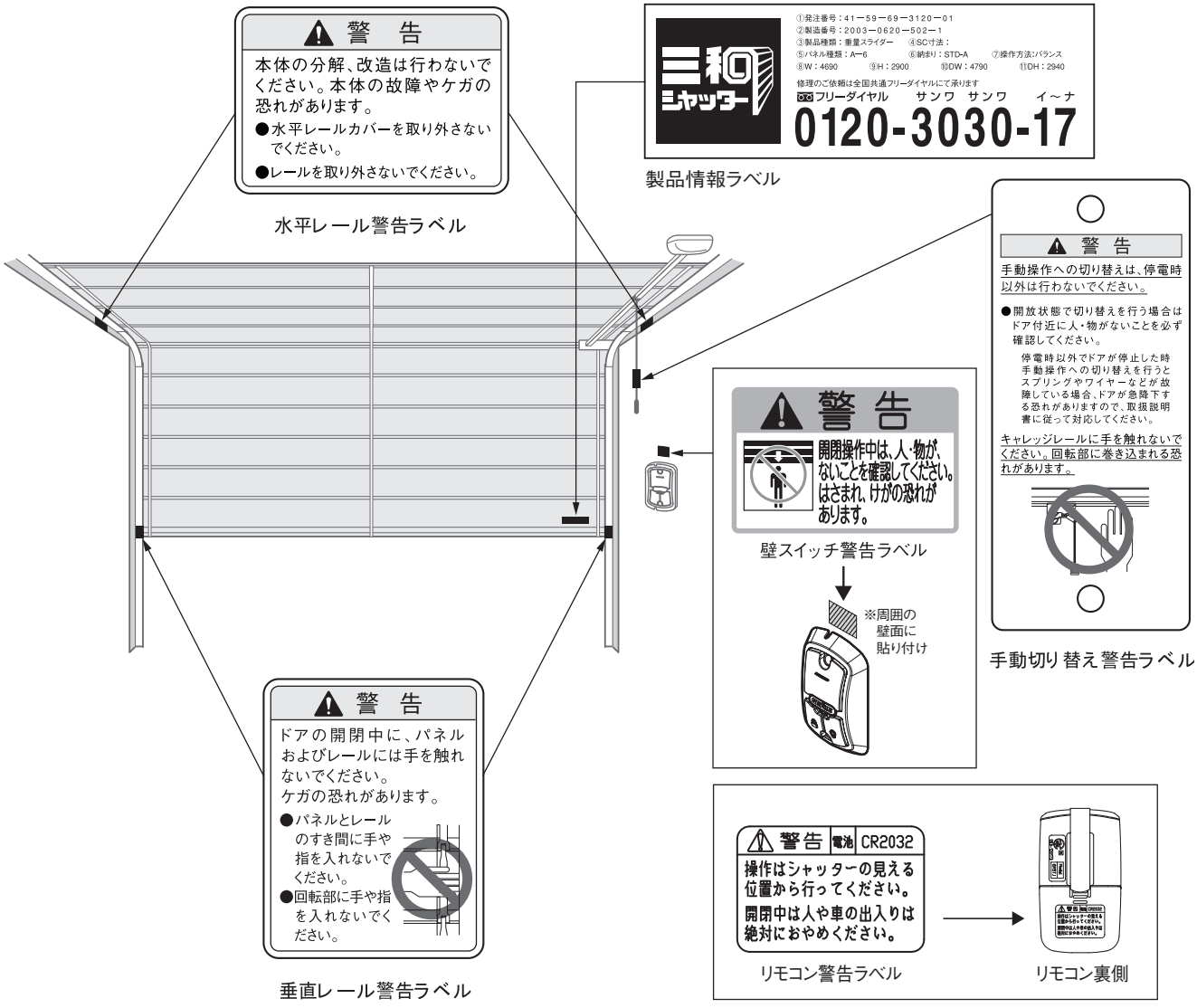
取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・お施主様へ
この取扱説明書は実際に使用される方へ必ずお渡しください。

三和シヤッター工業株式会社

ご使用上の注意

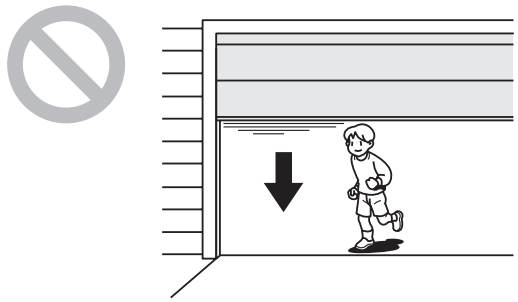
■当商品では、お客様に特に注意して正しくご使用いただくための「警告ラベル」を下図に示す位置に貼り付けています。
十分ご理解のうえ、ご使用ください。



ラベルが汚れたり、はがれたりした場合は、最寄りの三和シヤッター工業（株）営業所までご連絡ください。

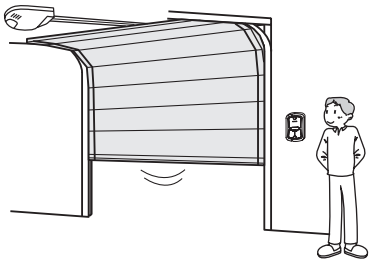
ご使用上の注意

警告： 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

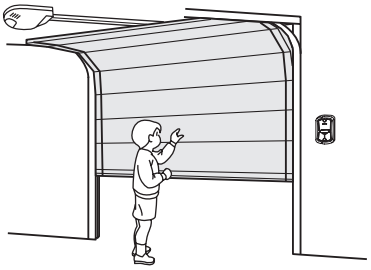


●ドア開閉中はドアの下に立ったり、通り抜けないでください。
はさまれると危険です。

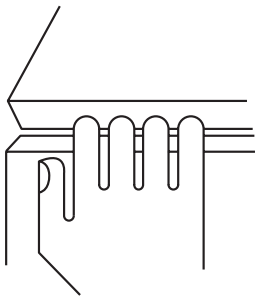
●お子様にドアやリモコンで遊ばせないでください。
はさまれると危険です。



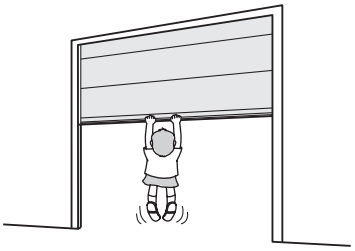
●ドアの開閉が完全に終了するまでドアから離れないでください。緊急時の停止操作ができません。



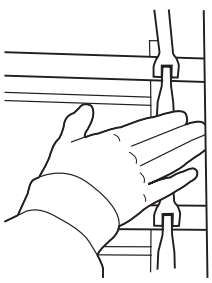
●近くに人や物がないことを確認のうえ、操作してください。
はさまれると危険です。



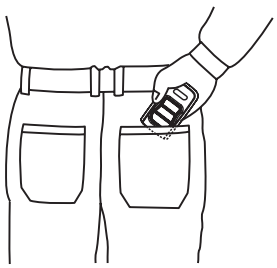
●開閉動作中は、パネルにさわらないでください。
パネルの溝に指をはさみ、ケガをするおそれがあります。



●ドアやレールにぶら下がらないでください。
はさまれたり、落下して重傷を負うおそれがあります。



●パネルとレールのすき間に手や指を入れないでください。
はさまれて重傷を負うおそれがあります。

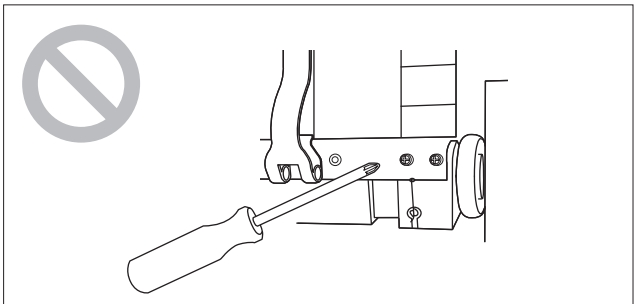


●お尻のポケットには絶対にリモコンを入れないでください。
意図せぬ誤動作やリモコンが破損するおそれがあります。

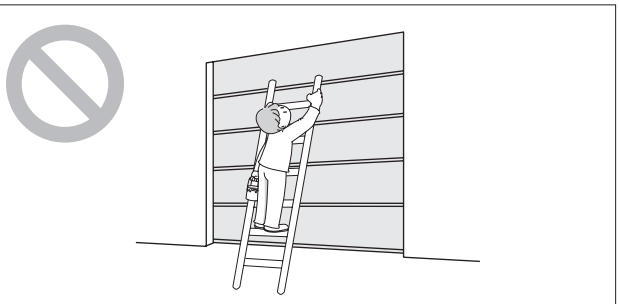
※各部の名称については、7ページを参照してください。

ご使用上の注意

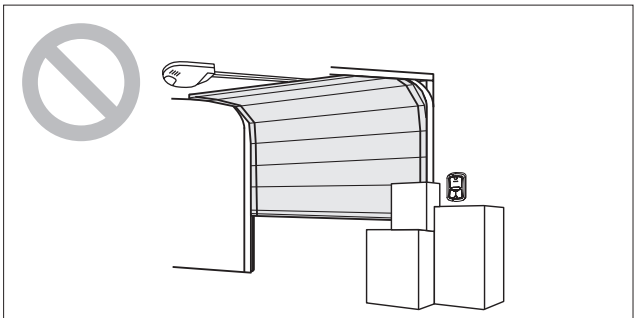
⚠ 警告： 次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。



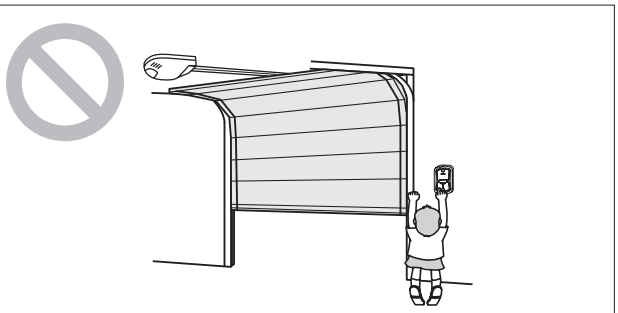
●ドア最下段のボトムロープ固定具のピンやねじは、決してゆるめたり、外したりしないでください。
スプリングが急激にもどり危険です。



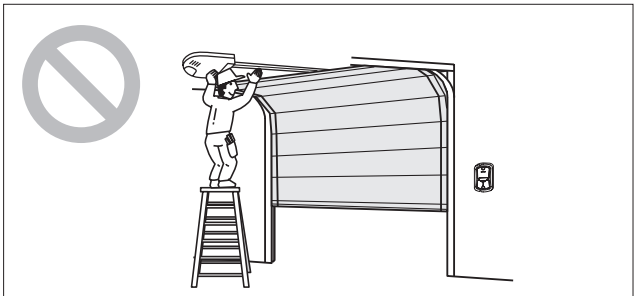
●ドアにハシゴなどを立て掛けて作業をしないでください。
ドアが動いて転落するおそれがあります。



●壁スイッチのまわりには、障害物となる物を置かないでください。
緊急のとき操作できません。



●お子様には操作させないでください。はさまれると危険です。

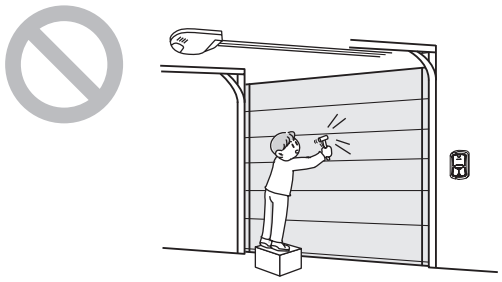


●トロリーレールに手や指を入れないでください。
はさまれて重傷を負うおそれがあります。

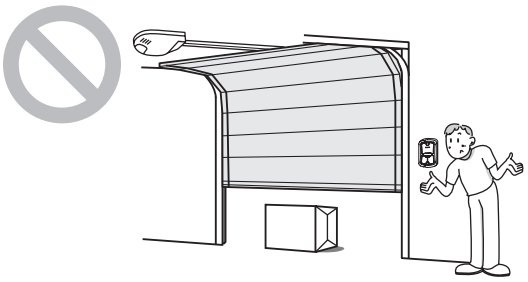
※各部の名称については、7ページを参照してください。

ご使用上の注意

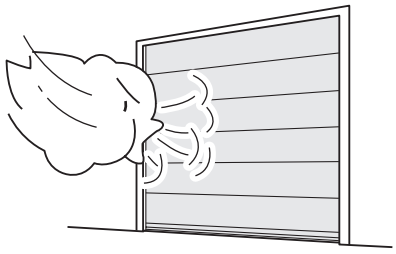
⚠注意： 次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。



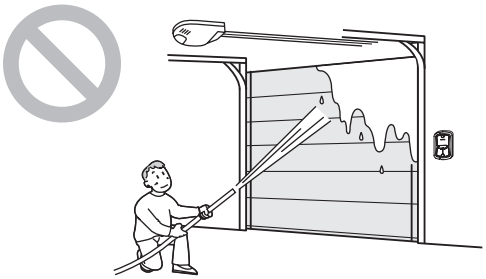
●ドアの改造・分解は行わないでください。
故障または性能低下の原因となります。



●ドアの下やレールに、開閉の支障となるような器物を置かないでください。
ドアや器物を破損するおそれがあります。

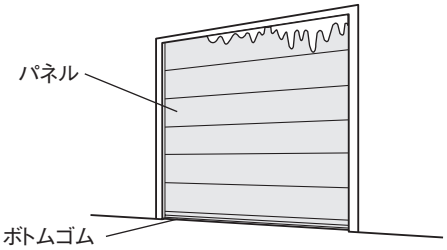


●台風などの強風時は、ドアを開閉しないでください。
ドアが壊れるおそれがあります。



●リモコンや電動開閉機など電気部品の周辺には水をかけないでください。
漏電、誤作動などの故障の原因になることがあります。

お 願 い



●パネルの凍結やボトムゴムが床に凍りついた場合は、無理に開閉しないでください。 ドアが壊れるおそれがあります。

※各部の名称については、7ページを参照してください。

6 手動切替の方法

停電時に、ガレージドアの内部側もしくは外部側（オプション）から手動操作へ切り替える方法です。

⚠ 警告

- ●「緊急必要時以外」は手動操作への切り替えは行わず、停電復帰を待って通常の操作を行ってください。
- ●高所作業を伴う場合は、危険ですので最寄りの三和シヤッター工業（株）営業所またはFTS（修理連絡先）までご連絡ください。
- ●開放状態で切り替えを行う場合は、ガレージドアの付近に人がいないこと、物がないことを必ず確認してください。
- ●操作中は、人や車の出入りを絶対におやめください。はさまれると危険です。
- ●操作中に「停電復帰」のおそれがあります。事前に電動開閉機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ●スプリングやワイヤロープの故障によりドアが停止した場合、手動操作への切り替えを行うとドアが急降下するおそれがあります。停電以外でドアが停止した場合は、手動操作への切り替えは行わず19、20ページの「異常時の処置」に従って対応してください。

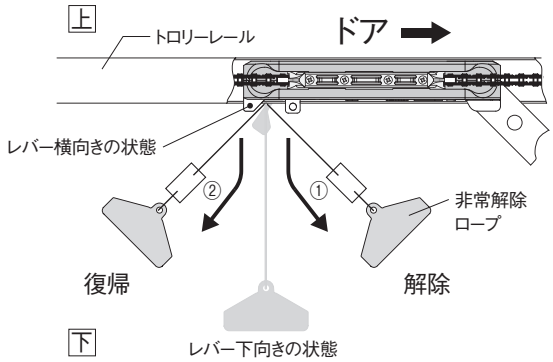
お願い

手動操作への切り替え後、非常解除用ロープを使ってドアを開閉しないでください。手動切替装置が破損するおそれがあります。

●内部側からの操作

手動操作への切り替え

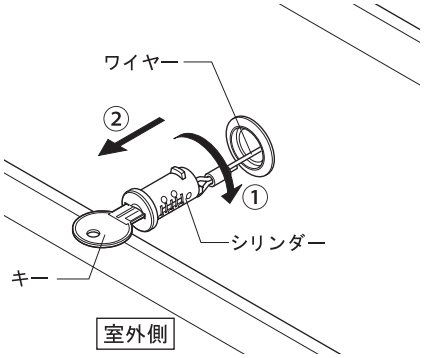
(1) 電動開閉機の電源プラグをコンセントから抜いてください。
(2) 非常解除ロープをゆっくり下へ引きながら、ドアの方向へ引いてください。
（右図①）
レバーが下向きの位置にあることを確認してください。
（ドアと電動開閉機の連結が外れます）
(3) ドアを手でゆっくり開閉してください。



電動操作への復帰

(1) 非常解除ロープをゆっくりと、ドアと反対側の方向に引いてください。
（右図②）
レバーが横向きの位置に戻ったことを確認してください。
(2) 電動開閉機の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
(3) 壁スイッチまたはリモコンの操作ボタンを押してください。
（ドアと電動開閉機が連結し、電動操作に復帰します）
※ドアの位置によっては、連結するまで時間がかかる場合があります。

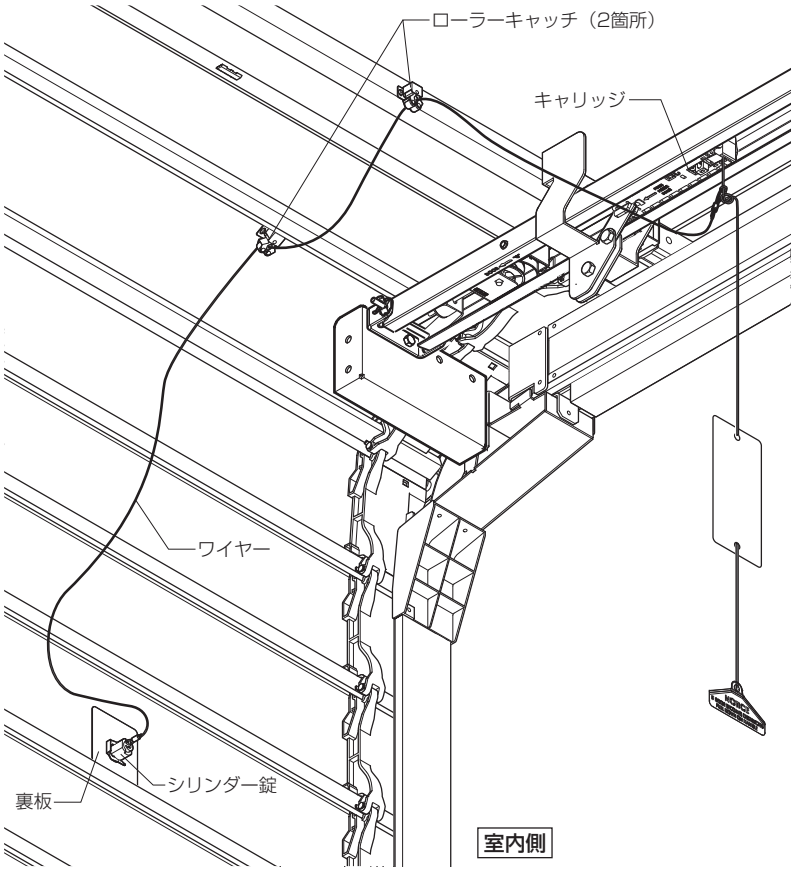
●外部側からの操作（オプション）



手動操作への切り替え

（1）シリンダー錠に付属のキーを差し込み、時計回りに90度回転させ、そのままシリンダーを抜きます。
（2）シリンダーに結ばれているワイヤーを70cm以上引っ張ると、キャリッジのレバーが下がり、ドアと電動開閉機の連結が外れます。
（3）ドアが手で動くことを確認してから、キーを入れたままシリンダーを元の穴に戻し、しっかりと押し付けた状態でキーを反時計回りに90度回転させてキーを抜きます。
（4）ドアを手でゆっくり開け、全開にしてください。
※必ず（3）を行ってからドアを開けてください。

操作中に「停電復帰」のおそれがあります。ガレージ内に入りましたら、すみやかに電動開閉機の電源プラグをコンセントから抜いてください。



電動操作への復帰

（1）ドアをゆっくり閉め、全閉にします。
（2）上から2枚目のパネルと駆動パイプに付いているローラーキャッチに、ワイヤーを差し込みます。
（3）レバーが横向きの位置になるように、非常解除ロープをゆっくりと、ドアと反対側の方向に引いてください。
（4）電動開閉機の電源プラグをコンセントに差し込んでください。
（5）壁スイッチまたはリモコンで操作し、ワイヤーがローラーキャッチから外れないことを確認してください。